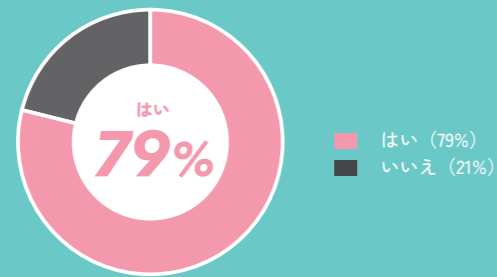
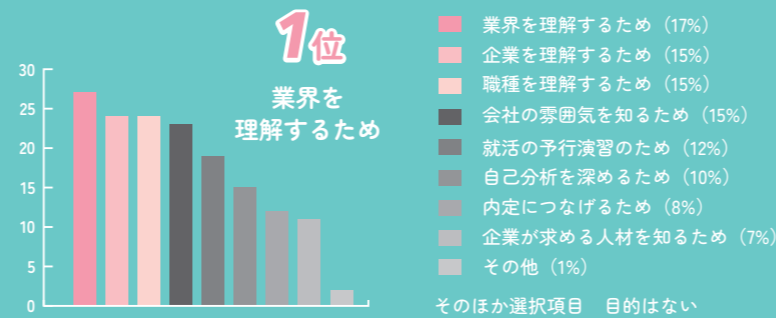


内容：24 卒学生のインターンシップ参加状況調査
 実施期間：令和 4 年 9 月 20 日～11 月 20 日
 調査対象：京都市わかもの就職支援センターの利用者
 （京都での就職を希望する 24 卒学生、センター個別相談の申込者）
 調査人数：43 人

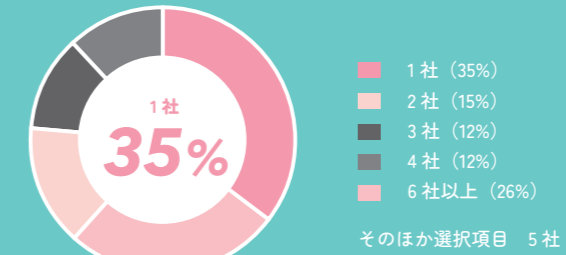
Q1-1 これまでインターンシップに参加したことはありますか？



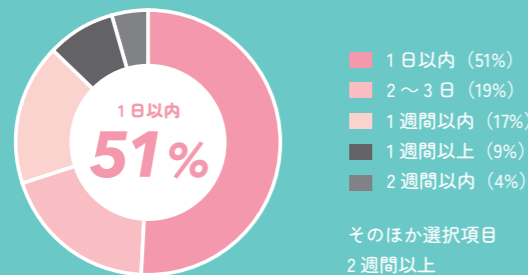
Q1-2 「はい」とご回答された方へ。インターンシップに参加した目的は何ですか。複数選択可



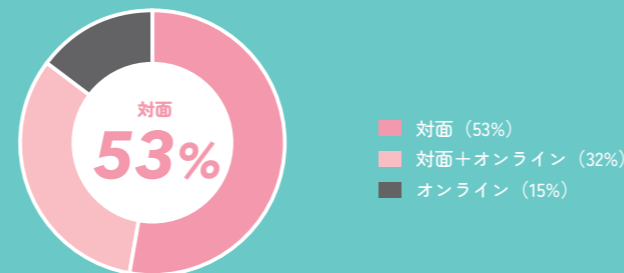
Q1-3 「はい」とご回答された方へ。参加したインターンシップの数を教えてください。



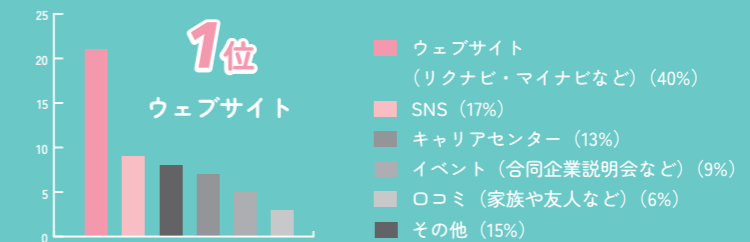
Q1-4 「はい」とご回答された方へ。参加したインターンシップの開催日数を教えてください。複数選択可



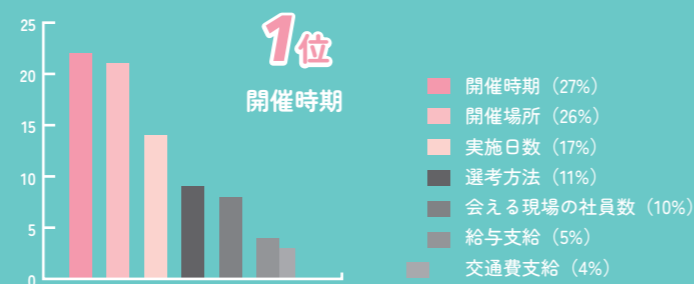
Q1-5 「はい」とご回答された方へ。参加したインターンシップの実施方法を教えてください。



Q1-6 「はい」とご回答された方へ。参加したインターンシップをどのような方法で見つけましたか。複数選択可



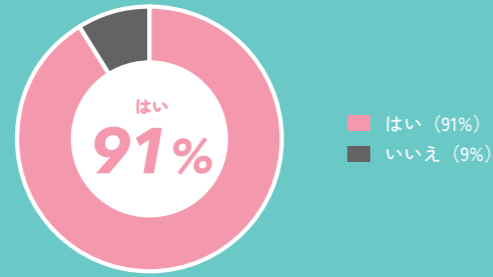
Q1-7 「はい」とご回答された方へ。参加したインターンシップについて選んだ基準を教えてください。複数選択可



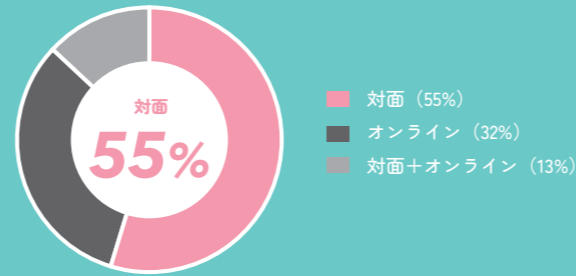
Q1-8 「いいえ」とご回答された方へ。インターンシップに参加しなかった理由を教えてください。

- ・就職サイトなどに載っている、一般企業にあまり魅力を感じられないため。
- ・まだ自分のやりたい分野のインターンシップがない。
- ・オンライン留学に参加しタイミングを逃してしまった。
- ・やりたい職種、気になる企業がやっていなかったから。
- ・タイミングを逃した。
- ・これからインターンシップに行く予定だから。
- ・就職活動をまだ本格的に行っていないから。
- ・エントリーシートを書けなかったから。
- ・公務員を目指していたため。

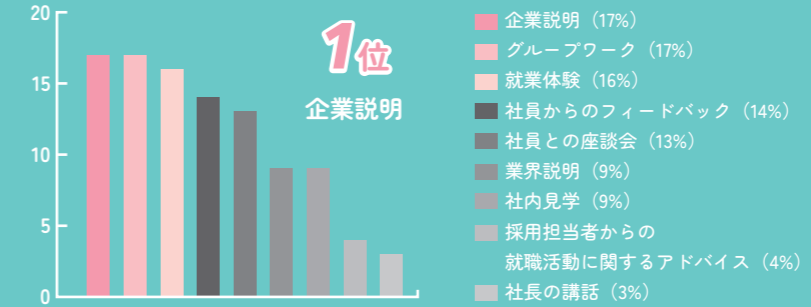
Q2-1 参加したインターンシップの中で有意義だったインターンシップはありましたか。



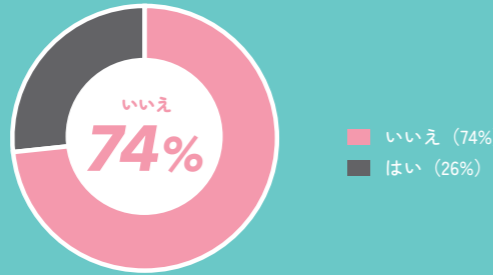
Q2-2 「はい」とご回答された方へ。「有意義だったインターンシップ」の実施方法を教えてください。



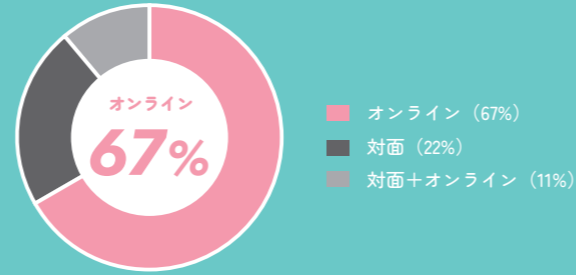
Q2-3 「はい」とご回答された方へ。「有意義だったインターンシップ」の内容を教えてください。複数回答可



Q3-1 参加したインターンシップの中で有意義でなかったインターンシップはありましたか。



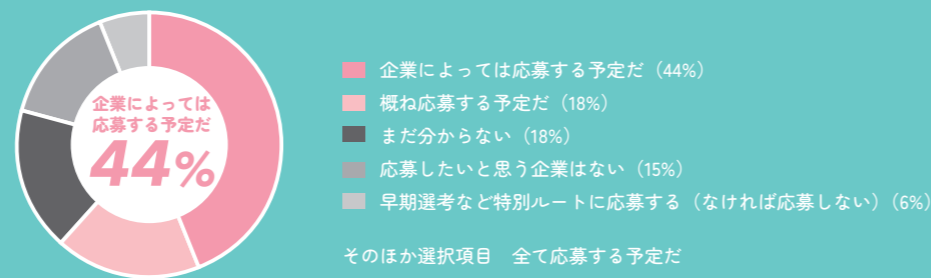
Q3-2 「はい」とご回答された方へ。「有意義でなかったインターンシップ」の実施方法を教えてください。



Q3-3 「はい」とご回答された方へ。「有意義でなかったインターンシップ」の内容と改善点や要望を教えてください。

- ・対面とオンラインでグループワークがあまりできなかった。仕事体験な点。
- ・ただ見てるだけのインターンシップだった。たまに手伝わせてもらえたかと思うと、どれだけ簡単な業務でもすぐに終わらせられた。インターンシップ生が来ることが少ないと社員の方が言われていたので、慣れていないように感じた。
- ・社員の方々や社長の一方的な説明だけで、学生と企業間でのやり取りがありませんでした。参加はしやすかったのですが、グループワークなどが少しでもあったら良かったと思います。
- ・ウェビナー型の方法で行われたもので一方的に話を聞くだけの内容だったから
- ・業務内容が全く自分と合わないと感じてしまった。
- ・仕事体験のグループワークが非常に簡単なもので、業務とは似ていても、程遠いと感じたため。
- ・オンラインで意思疎通が難しかったので、やはり対面が一番ではあります。
- ・老人ホームでのインターンシップだったのですが、コロナの影響で1日のみだったため少なすぎた。

Q4-1 インターンシップに参加した企業の選考に応募する予定ですか。



Q4-1 「応募したいと思う企業はない」とご回答された方へ。その理由を教えてください。

- ・自分に合わなかったため。
- ・就きたいと思う職業ではないから。
- ・自分とは合っていない業種だったため。
- ・業務内容が全く自分と合わないと感じてしまった。
- ・既に就職活動を終えているから。また、活動中も、インターンシップを通して、参加企業の業界よりもさらに魅力を感じる業界・企業に出会えたから。
- ・インターンシップに参加したのが公務員で、後に自分は公務員は目指さないことを決めたから。

考察 consideration

24卒の学生でインターンシップに既に参加している学生は79%

調査時点でインターンシップに参加したことがあると回答した学生は全体の約8割と多くの割合を占めている。開催方式は「対面」に「対面+オンライン」を含めると85%と対面方式が一番多く、コロナ禍の影響により就活のオンライン化は進んでいるものの、インターンシップ自体は対面での実施がメインとなっている。有意義なインターンシップがあったかという問いについては、91%の学生が「はい」と回答しておりインターンシップに参加した学生にとっては、インターンシップが今後の就職活動の役に立ったと思われる。有意義だったインターンシップの内容としては、「企業説明(17%)」、「グループワーク(17%)」、「就業体験(16%)」、「社員からのフィードバック(14%)」の順に割合が高く、見学や座談会よりもより実務に近い体験を有意義だと感じていることが分かる。

インターン先の企業へ応募するかどうかについては、「企業によっては応募する予定」または「概ね応募する予定」と約6割の学生が回答しており、インターンシップを実施することによって、応募動機を高められる可能性があることが分かった。